



町民のひろば

さわちゃん劇場

(沢口浩 作画) 91

懐かしの竹スキーの巻



りさこ
志田梨佐子ちゃん

(3歳6ヶ月・城内小路)
一将さん・千秋さん次女



れいじろう
遠藤礼二郎くん

(3歳5ヶ月・中村)
宏尚さん・みか子さん長男

わが家の
— 343 —
アイドル

NHKの番組「いないいないばあっ!」やお祭りの踊りを歌って踊って、家族を楽しませてくれる梨佐子。お兄ちゃんやお姉ちゃんにけんかしても負けない、元気いっぱい負けん気が強い子です。近ごろ、お茶碗を洗うなどお手伝いができるようになりました。元気でやさしい子に育ってね。 千秋

缶コーヒーについてくる電車のおまけに夢中の礼二郎。「コーヒー電車、コーヒー電車」と飲めないコーヒーをおねだりしてきます。家ではやんちゃだけど、外ではちょっと静かで内弁慶な性格。最近、ハンバーグをフォークとナイフで食べられるようになりました。思いやりのある子に育ってね。 みか子

ハイ・元気です

200



山崎 七五郎さん
(86歳・吉ヶ沢)

吉ヶ沢地区の老人クラブ会長や年金友の会副会長を務めている七五郎さん。「色々あって忙しいんだあ」と苦笑いしながらも、「あとは、農業共済の総代などもやっています。ワッハッハ」と教えてくれました。周囲から「元氣だねえ」といわれる七五郎さん。10月までは老人クラブの皆さんと週一回のゲートボールの練習に精を出し、町内の大会に参加しました。「勝ち負けは別としてゲートボールの大会が楽しみです。あとは、旅行に行くことかな。ワッハッハ」と元気あふれる七五郎さんです。

皆さんが参加するコーナーです。
耳よりの情報やご意見、ご質問などお気軽にお寄せください。
総務企画課広報聴取統計係 内線 257

おいしいコーヒーを片手に ジャズを楽しみませんか?

～ちょっと日曜JAZZ喫茶～



毎週日曜日、おいしいコーヒーを楽しみながら、おしゃれなJAZZを堪能する、そんな空間が町内にあるのを知っていますか? その名も「ちょっと日曜JAZZ喫茶」。下町の郷土資料館を利用して平成18年8月に誕生しました。開店当時は、平均5～6人のお客さんが、現在は毎週平均15～16人が訪れるまでになりました。お客さんは町内の方がほとんどですが、中には毎週宮古から片道2時間半をかけて訪れる人もいます。そのほか、矢巾町、八幡平市、二戸市などの近隣町村からも訪れます。また、新聞やテレビなどにも取り上げられるなどJAZZ喫茶の取り組みが町内外から注目されています。

毎週日曜日、必ずJAZZ喫茶を訪れるという新町の女性の方々は「ここの雰囲気とおいしいコーヒーが最高。毎週日曜が楽しみです」とニコリ笑顔。旬の食材を持ち寄り、コーヒーを片手に音楽と会話を楽しむ、地域の方々の交流の場にもなっています。運営する藤岡徹さん(新町)は「ジャズだけでなく、ロック、ポップなどたくさんCD、レコードを揃えています。皆さん、ストレス発散にちょっと立ち寄ってみませんか」と呼び掛けます。

「ちょっと日曜JAZZ喫茶」は毎週日曜日午後から開店しています。利用料金は、100円。皆さん、ちょっと日曜JAZZ喫茶に立ち寄ってみませんか♪



林 恵里子さん (25歳・城内小路)

ヤング 345

信頼される作業療法士になりたい

「利用者様が在宅で安心して暮らせるよう、一人一人の希望に沿ったサービスができるように心掛けています。」と話す恵里子さんは、今年8月に帰郷し、アットホームくずまきで作業療法士として働いています。

元々、作業をすることが好きで、高校生の時に「作業療法士」という仕事を知り、将来の職業にしようと思えました。「作業療法士というイメージから体育会系に見られがちですが、運動はあまり得意ではないです」と照れくさそうに話す恵里子さんは、小、中、高校と吹奏楽部に所属。ホルンより少し大きいユーフォoniumを担当していました。

「休みが合えば友だちと好きなアーティストのライブに出かけたいですね」と話す恵里子さんの理想の男性像は「頼りになる年上の人」だとか。「いつか地元に戻ってきて貢献したいと思っていました。笑顔を大切に、一日でも早く信頼される作業療法士になりたいです」と目を輝かせます。

今日のショット



(17) 平成22年12月1日・広報くずまき



広報くずまき・平成22年12月1日 (16)

11/14
チャリティーショー